

●「第69回体育祭」を成功させよう。体育祭まであと6日

昨年の騎馬戦の様子

「後ろにも眼をつける！！」



【体育祭 プログラム】 ※色つきは、2年生のみの種目

午前		午後	
入場行進	C	部活対抗リレー	
開会式		民踊	
合同体操		走り綱引き	C
クラス対抗リレー (予選)	B	なわとび	
台風の日	A	ダンス～よさこい花車～	
足並みそろえて	A	棒上旗奪い	C
因幡の白ウサギ	B	バーゲンセール	C
騎馬戦 (女子)	C	紅白対抗リレー	A
舟入高校体操&組体操		フォークダンス	
騎馬戦 (男子)	C	閉会式	
二人で縄跳び	A		
クラス対抗リレー (決勝)	S		

【得点基準】

A: 1位50点 2位30点 3位10点 4位5点  
 B: 1位20点 2位15点 3位10点 4位5点  
 C: 勝60点 引分40点 負20点

★入場行進から  
採点が始まる！！

【2年生 紅白組み分け】

紅組 2、4、6、8、9組

白組 1、3、5、7、10組

●秋冬の土ゼミ開始 9月9日 (土) スタート

英 77名 数 103名 国 69名申込 時間割、教材を確認する

●第2回高2駿台全国模試 9月18日 123名 申込

- ・受験教室を掲示で確認してください。
  - ・過去問題が3階に配付されています (数…3年分、国…希望者添削付)
- 「有備無患！」 (備え有れば患い無し) 準備をしっかりと「挑戦」しよう。

●第2回考査時間割発表 体育祭前日 9月14日(木)  
体育祭が終了したら、次は考査に「切り換える」 2週間後は「第2回考査」

●夏季休業中の学習時間 そもそも「記録」を出せていない人が相当数いる。  
「中だるみ」になっていないか 2年生!!!  
影響はすぐには出ない。  
十分できていなかった人は、早く「切り換え」進むのみ!!  
(夏季休業中の学習時間(5週間))

・トータル最大時間 191時間(1週平均38.1時間)
・100時間以上が47%
・学年平均 1週間20.5時

昨年 1年生時 夏季休業中の学習時間(5週間)

・トータル最大時間 209時間(1週平均41.8時間)
・100時間以上が50%
・学年平均 1週間21.5時間

●9月3日(日)「主要大学説明会」

- ・開場の9時45分には、長蛇の列ができていました。
- ・多くの舟入生が参加し、それぞれの大学ブースに並んで熱心に話しを聴いていました。
- ・東京大学理事・副学長である福田裕穂(専門:植物生理学・植物細胞生物学)先生の基調講演が、大変示唆に富むお話だったので、以下にその内容の一部を紹介します。

◆テーマ 「グローバルな知のリーダーを育てる」◆

キーワード……「もっとグローバルに」「もっとタフに」

①世界の中で、日本の立ち位置が変わりつつある。

- ・日本企業の海外展開について……近年、日本企業の海外生産率が40%近くに上昇している。
- ・日本の企業だけで「作っている」「売っている」時代ではなく、海外(主にアジア)は、「実際に働く場所」になりつつある。中小企業から大企業まで。

②研究における日本の立ち位置はどうなっているか。

- ・日本の博士課程入学者「右肩下がり」の時代に突入。「基礎研究力」は低下。
- ・昨年、一昨年とノーベル賞を日本は受賞しているが、それは、1990年代の研究論文が評価されてのこと。この当時、日本の論文引用数は世界第2位であった。現在世界第2位の国は中国である。今後は、中国から多くのノーベル賞が出ると予想される。中国の台頭が顕著に。
- ・中国は、人口約14億の中の100人の超エリートの50番目までが、アメリカに留学し、「ラボ」(研究所)を多く構え、研究している。
- ・日本の研究者も多く世界で活躍している。世界で活躍する日本人の例として3人が紹介された。  
高木英典氏 東京大学大学院教授・ドイツ マックスプランク研究所  
中満泉氏 国連事務次長 兼 軍縮担当上級代表 (国連軍縮部門トップ)  
石井菜穂子氏 世界銀行局員 地球環境ファシリティ(GEF)統括管理責任者兼任議長。
- ・日本国内では、就職においても優秀な外国人と日本人とが競争する時代になっている。
- ・ますますグローバル化する世界の中で、ネットワークを築き、多国籍の人々の中でリーダーシップを発揮しながら貢献することを目指してほしい。

★英語ができることではない。人として「リスペクト」されることが大切になる★

